


# 一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和4年 2月 9日

山北町議会議長 児玉 洋一 殿

受付番号	第8号	質問議員	12番	富田 陽子	
件名	「木育」の推進を				
要 旨					
<p>平成18年9月に閣議決定された「森林・林業基本計画」や林野庁の取り組みなどもあり、昨今、全国的に公共施設への国産材の積極的活用や、教育現場での「木育」の取り組みが進んでいる。</p> <p>「木育」は、幼児期から生涯にわたって木材との関わりを深め、豊かな暮らしづくり、社会づくり、森づくりに貢献する町民の育成を目指す活動であり、木について理解を深めるだけでなく、鋭い感性や自然への親しみ、森林や環境問題に対する確かな理解の基礎を育むものである。</p> <p>山北町では、平成26年に町立共和のもりセンター(旧共和小学校)を県産材・地元材を活用しリノベーションした。地域の利用者にも好評である上、他市町村向けの森林教育拠点や、大野山のハイカーが立ち寄って、森林について知る機会となり、貴重な場となっている。</p> <p>‘触れる・創る・知る’ という「木育」の場を山北町(特に園、小、中の教育)に取り入れることにより、森林や木材に親しみ、知識や郷土愛を深める体験となる。森林率90%の山北町における環境保全、持続可能な町づくり、観光などの課題解決や、ひいては世界の森林保全や持続可能な社会づくりの担い手を育てることにつながると考え、質問する。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 町として「木育」についてどう考えているか。方向性はあるか。</li><li>2. 教育・保育現場における木育の取り組み状況は。</li><li>3. 公共工事で産業廃棄物となったり、放置される伐採木がある。 「木育」に有効活用できるような集積、利活用の方向性は。</li><li>4. 国産材を活用した新たな木育拠点施設の整備計画は。</li><li>5. 町民が積極的に森林保全活動や木育の取り組みを行えるよう応援する制度を検討しては。</li></ol>					